



令和2年8月4日

佐賀県内経済情勢報告

令和2年8月

財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所

<お問い合わせ先>

佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎
財務省福岡財務支局 佐賀財務事務所 財務課


電話 (0952) 32-7161

ホームページアドレス

<http://fukuoka.mof.go.jp/html/saga/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」







項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で大きく下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、百貨店・スーパー販売額などは同感染症の影響により前年を下回っているものの、専門量販店販売額は前年を上回っており、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、食料品が同感染症の影響による飲食店の休業等により生産が減少しているものの、足下では減少幅が縮小しているなど、一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しており、同感染症の影響により弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部業種では業績が足下で大きく下押ししているなど、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる	
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響による一部生産停止などから、生産が足下で大きく下押ししているなど、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる	
雇用情勢	改善してきたが、足下で新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	
設備投資	令和元年度は増加見込み	令和2年度は増加見込み	
企業収益	令和元年度は減益見込み	令和2年度は減益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が県内経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる」

百貨店・スーパー販売額は、衣料品は前年を下回っているものの、飲食料品は前年を上回っており、足下では減少幅が縮小している。コンビニエンスストア販売額は、同感染症の影響で来店客数が減少していることから、前年を下回っている。乗用車新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽自動車いずれも前年を下回っているものの、足下では減少幅が改善傾向にある。ドラッグストア販売額は、食料品等が好調なことから、前年を上回っている。家電販売額は、パソコンやテレビが好調なことから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、DIY用品や園芸用品が好調なことから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 衣料品は、感染症の影響で結婚式等各種イベントが中止・延期になったため、スーツなど「ハレの日」需要が落ち込んでいる。(小売業)
- 飲食料品は、緊急事態宣言を受け、外出を控え自宅で過ごす「巣ごもり消費」が増えた影響により、レトルト食品や即席めん、冷凍食品などが好調に推移した。(スーパー)
- 感染症の感染拡大防止に向けた外出自粛の影響により、来店客数が減少したほか、工場の生産停止や資材不足などによる納期の延期等が見受けられた。緊急事態宣言の解除を受け経済活動が徐々に戻ってきており、販促活動を再開する予定。(小売業)
- 4～5月は、感染症の影響による外出自粛で来店客数が減少したことや、店舗の休業等により売上が減少したが、6月以降は、テレワークの増加や巣ごもり消費に加え、特別定額給付金の影響により売上が増加している。(家電販売店)
- DIY用品、園芸用品が特に好調に推移している。感染予防のためのマスクを手作りするための布やゴム、飛沫防止パネルなどに用いるアクリル板なども好調で、作業に必要なDIY用品も売上が伸びている。(ホームセンター)

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる」

生産活動を主要業種でみると、食料品は、同感染症の影響による飲食店の休業等により生産が減少しているものの、足下では減少幅が縮小している。輸送機械は、同感染症の影響で国内外向けともに減少しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。一方、生産用機械は、引き続き厳しい受注環境が続いており受注残高が減少している。

- 感染症の影響による巣ごもり需要により家庭用は増加しているものの、飲食店の休業等により業務用が減少している。足下では、休業要請や県境をまたぐ移動自粛が解除されたことから、回復傾向にある。(食料品)
- 感染症の影響による世界的な需要の減少により、売上は大幅に減少する見込み。なお、足下では徐々に需要が回復してきている。(輸送機械)
- 米中貿易摩擦による中国経済の減速の影響で設備投資が減少していることに加え、感染症の影響で営業活動が制限されており、中国からの受注がない状況が続いている。(生産用機械)
- 感染症の影響により生産が滞っていた自動車関連(車載向け)の需要が減少している。一方で、国内外ともにスマートフォンやカメラ、データセンター向けなど全般的に需要があり高操業となっている。(電子部品・デバイス)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

新規求職者数は、前年を下回っている。新規求人数は、宿泊業及び飲食サービス業等で減少していることから、全体では前年を下回っている。有効求人倍率は低下しており、同感染症の影響により弱い動きとなっている。

- 技能実習生について、前年に引き続き今年度も採用を予定しており、審査等は完了しているものの、感染症の影響により入国制限が続いているため、入国が出来ない状況である。(小売業)
- 有効求人倍率は、改善が続いていたものの感染症の影響がみられ、改善の動きに弱まりが見え始めている。休業や助成金活用に関する相談が増加している。(労働局)

■ 設備投資 「令和2年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

令和2年度の設備投資額は、製造業は前年比5.0%の増加見込み、非製造業は同49.9%の増加見込みとなっており、全産業では同11.2%の増加見込みとなっている。規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「令和2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

令和2年度の経常利益(「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く)は、製造業は前年比0.4%の増益見込み、非製造業は同7.6%の減益見込みとなっており、全産業では同2.0%の減益見込みとなっている。規模別にみると、大企業は増益見込み、中堅企業、中小企業は減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(2年4~6月期)の景況判断BSIでみると、2年4~6月期は、「下降」超幅が拡大している。先行きについては、2年7~9月期は、引き続き「下降」超の見通しとなっている。